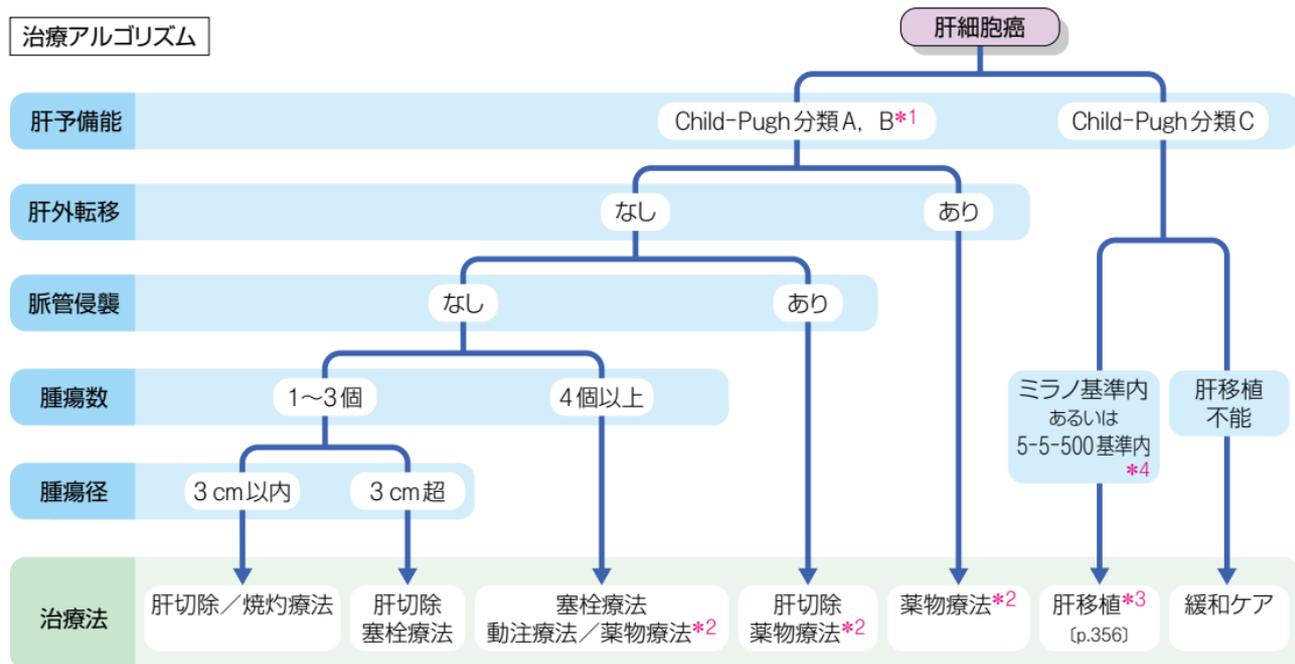


肝障害度、腫瘍数、腫瘍径を考慮する

治療方針

- 肝細胞癌の治療方針は、Child-Pugh分類 (p.308)、腫瘍数、腫瘍径などを考慮したうえで選択される。

治療アルゴリズム



治療法について、2段になっているものは上段が優先される。スラッシュはどちらも等しく推奨される。

*1 肝切除の場合は肝障害度による評価を推奨

*2 Child-Pugh分類Aのみ

*3 患者年齢は65歳以下

*4 遠隔転移や脈管侵襲なし、腫瘍径
5 cm以内かつ腫瘍数5個以内かつ
AFP500 ng/mL以下